

防災・日本再生シンポジウム

紀伊半島和歌山県の これからの災害を イメージする

地元の防災ホームドクターの挑戦

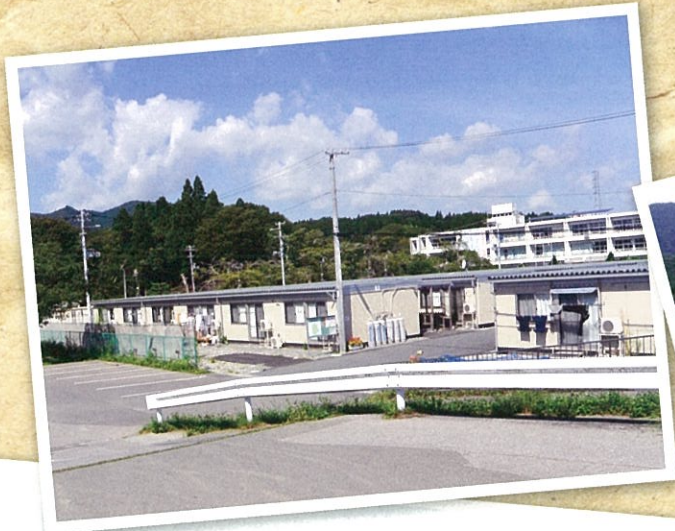
開催日時／平成26年1月25日(土) 13:30~16:45

開催場所／和歌山ビッグ愛 大ホール

[対象者] 一般市民、行政職員、教育機関関係者

参加費無料

事前申込願います。
(当日受付も可)



和歌山県では近い将来に南海トラフの巨大地震の発生が懸念されています。内閣府の想定では、多くの死亡が見込まれ、避難者数は約45万人となり長期的な避難、ライフラインの寸断が予測されています。さらに紀伊半島は豪雨・土砂災害の多発する地域で、明治22年の十津川大災害や平成23年台風12号による大水害など、この120年間で3回の激甚災害を経験した地域です。和歌山県は少子高齢化が進み、人口も減少しつつある状況ですが、このような状況での災害に強い地域づくりとして地域創造をしていかなければなりません。

これから発生するであろう自然災害に対し、地元で立地する唯一の国立大学として、地域を支え、地域に支えられる大学として、どのように対処し、地域の再生復興のために主体的に役割を果たすべきかを議論してきました。このシンポジウムでは、地元大学としての和歌山大学の研究について報告し、有識者会議のメンバーでパネルディスカッションを実施し、南海トラフの巨大地震、水害などから県民を守るための研究について考えていきます。

プログラム

- 13:30～ 開会挨拶／和歌山大学 学長 山本 健慈
- 13:35～ 学内防災研究プロジェクト報告
 - 災害地理情報
江種 伸之(和歌山大学防災研究教育センター 副センター長・システム工学部 教授)
 - 情報通信技術
塚田 晃司(和歌山大学防災研究教育センター センター員・システム工学部 准教授)
 - センシング技術
村田 頼信(和歌山大学システム工学部 准教授)
 - 防災計画
平田 隆行(和歌山大学防災研究教育センター センター員・システム工学部 准教授)
 - 防災力を活かした地域振興
吉田 登(和歌山大学システム工学部 教授)
- 14:35～ 休憩 [防災研究成果のパネル展示発表]
- 15:05～ パネルディスカッション
「東日本大震災及び紀伊半島大水害の経験をふまえ
将来の巨大自然災害の被害や対策についてリアルに考える—地元大学の役割について—」
ビデオ出演／室崎 益輝(公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長)
[パネリスト]
野田五十樹(産業技術総合研究所サービス工学研究センター チーム長)
深川 良一(立命館大学理工学部 教授)
牧 紀男(京都大学防災研究所巨大災害研究センター 准教授)
山川 充夫(帝京大学経済学部 教授)
[コーディネーター]
江種 伸之(和歌山大学防災研究教育センター 副センター長・システム工学部 教授)
- 16:30～ 地域を支える和歌山大学の防災教育研究の提言
此松 昌彦(和歌山大学防災研究教育センター センター長・教育学部 教授)
- 16:35～ 閉会挨拶／和歌山大学 理事・地域創造支援機構長 平田 健正

- 申込方法** 氏名、電話番号、住所、電子メール、所属機関、役職を下記申込書に記入し、FAXにて送信するか、メール、電話にてお申し込みください。
- 申込期限** 平成26年1月20日(月)
- 申込先** 国立大学法人和歌山大学 研究協力課
〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL.073-457-7558 FAX.073-457-7550
bousai01@center.wakayama-u.ac.jp

防災・日本再生シンポジウム 参加申込書

※必要事項をご記入の上、1月20日(月)までにFAXにて送信するか、①～⑦の内容をメール、電話にてお申し込みください。

①フリガナ		③ 電話 番号	() -
②氏 名		⑤ 電 子 メー ル	@
④住 所	〒 -		
⑥所属機関		⑦ 役職	

※このお申し込み情報は本シンポジウム開催の目的以外では使用しません。